

平成24年度 事業報告書

自 平成24年 1 月 1 日

至 平成24年12月31日

公益財団法人 河北文化事業団

1. 事業の報告

(1) 主催事業

(イ) 第61回（平成23年度）河北文化賞の贈呈

東北の学術、芸術、体育、産業、社会活動の各分野で顕著な業績を上げた個人、団体に贈る第61回河北文化賞は、東北6県から推挙を受けた計31件の中から4件の授賞を決定した。贈呈式は平成24年1月17日、仙台市の仙台国際ホテル「平成の間」で、東北各県各界の代表約310人の列席を得て行った。

※河北文化賞贈呈式に当たり、河北文化賞の意義や目的を広報するため、これまでの受賞者を紹介した冊子を刊行した。

受賞者と業績は次の通り。

「家畜卵巣卵の高度利用技術の開発」

東北大学大学院農学研究科教授 佐藤 英明氏

「全国俳句山寺大会を半世紀にわたって開催した功績」

山寺文化保存会

「東北の地域づくり活動を先導し地域振興に貢献」

民俗研究家・地域づくりプロデューサー 結城 登美雄氏

「地域伝統の食文化に学び、食育推進を実践した功績」

学校法人朴沢学園明成高等学校調理科リエゾンキッチン

贈呈式では、一力雅彦理事長が受賞者の業績を紹介し、「今後も東北の文化向上、発展のために努力され、河北文化賞の意義をより深いものにしていただきたい」とあいさつ。金成有造常務理事が審査経過を報告し、一力理事長から受賞者に本賞（賞牌）と副賞として金一封が贈られた。この後、東北芸術工科大学教授の入間田宣夫氏が「平泉の世界遺産登録の意義～東北の復興に向けて」と題して記念講演を行った。引き続き茶話会に移り、各推挙者から受賞者それぞれの人柄や業績の紹介があり、盛会のうちに幕を閉じた。

(ロ) 第75回河北美術展の開催

河北新報社との共催で第75回河北美術展を4月28日から5月8日まで、仙台市の藤崎本館7階催事場と一番町館5階で開催した。

わが国最大の地方公募展として歴史、規模を誇る同展は、東北における美術文化の向上に大きな役割を果たしており、中央画壇にも数多くの人材を輩出している。一昨年の東日本大震災により2年ぶりの開催となった今回は、日本画、洋画、彫刻の3部門に、東北6県はもとより全国各地から1135点（前回1110点）の作品が寄せられた。

展覧会には、厳しい審査で選ばれた入賞31点と入選356点、さらに審査員、顧問、招待作家の作品58点の計445点が展示され、連日多くの美術ファンでにぎわった。

最高賞の河北賞は、日本画＝奥山和子（仙台市）、洋画＝田中 守（仙台市）、彫刻＝舩谷拓磨（つくば市）の各氏。文部科学大臣賞は、洋画＝菅原志織（栗原市）氏が受賞した。

審査は、日本画＝福王寺一彦（日本美術院）、室井東志生（日展）、洋画＝村田省蔵（日展）、大津英敏（独立美術協会）、檀田伸也（無所属）、彫刻＝能島征二（日展）の各氏が行った。

本展終了後、栗原市、大崎市、宮城県利府町で巡回展を開催、好評を博した。

(ハ) 若鷲旗争奪第41回東北中学校野球大会兼第34回全国中学校軟式野球大会東北予選会の開催

東北中学校体育連盟、東北軟式野球連盟、福島県教育委員会、会津若松市教育委員会、会津坂下町教育委員会との共催で、第41回東北中学校野球大会を第34回全国中学校軟式野球大会の東北予選会を兼ねて8月6日から8日までの3日間、あいづ球場（会津若松市）と鶴沼球場（会津坂下町）を会場に開催した。

東北各県から三本木、平賀西（青森）、久慈、一戸（岩手）、南郷、秀光中教校（宮城）、稲川、将軍野（秋田）、鶴岡三、酒田四（山形）、棚

倉、信夫（福島）の計12チームが出場、熱戦を繰り広げた。

決勝は久慈と将軍野の対戦となり、久慈が2－1で初優勝を飾り、若鷲旗を手にした。両チームと第3代表決定戦に勝利した稲川は東北代表として群馬県前橋市などで開かれた全国大会に出場したが、3校とも2回戦で敗退した。

(二) 第59回河北書道展の開催

東北書道界の最高峰を誇る第59回河北書道展を河北新報社との共催で、8月16日から21日までの6日間、藤崎本館7階催事場、一番町館5階で開催した。

今回は東北各県から会友、一般合わせて986点（前回871点）の応募があった。部門別の応募状況は、第1部（漢字）216点、第2部（かな）80点、第3部（墨象）129点、第4部（近代詩文）228点、第5部（少字）83点、第6部（篆刻・刻字）95点、第7部（漢字一行書）155点。

大友青陵審査委員長以下36人の審査員が厳正かつ慎重な審査を行った結果、入賞19点、特選82点、準特選52点、入選658点が決まった。

河北賞は、第1部＝阿部香華（仙台市）、第2部＝沼田信子（仙台市）、第3部＝後藤恭（栗原市）、第4部＝中野翠秋（仙台市）、第5部＝二野瓶雅人（山形市）、第6部＝田中清翠（多賀城市）、第7部＝田中翠恵（名取市）の各氏が受賞した。

展覧会には、入賞、入選作品と顧問、参与、審査員、招待、委嘱作家の作品を合わせた986点を展示、訪れる書道ファンを楽しませた。本展終了後、大崎市で巡回展を開催し、好評を得た。

(三) 第56回全東北ピアノコンクールの開催

東北放送、東北放送文化事業団との共催による第56回全東北ピアノコンクールの本選会を6月10日、仙台市の若林区文化センターで開催した。

今回は東北6県にゆかりのある37人が参加し、うち予選を通過した7人が本選に出場。審査の結果、常盤木学園高3年千釜有美子さん（宮城

県出身)が第1位に輝き、文部科学大臣賞を受賞した。

このコンクールは、東北の音楽文化の振興をはかるとともに、若手演奏家を育てようと昭和32年にスタート。以来、56回を数え、この間、多くの優れたピアニストを中央楽壇に送り出すなど、大きな成果を上げている。

(ハ) 第21回河北工芸展の開催

河北新報社、宮城県文化振興財団との共催で、第21回河北工芸展を10月19日から24日までの6日間、仙台市のせんだいメディアテーク6階ギャラリーで開催した。

同展は東北の工芸美術の振興と発展を目的に、平成4年に創設。東北地方をはじめ全国各地から287点(前回285点)の応募があった。

伊勢崎淳(日本工芸会)、春日井路子(現代工芸美術家協会)、古見準士(日本新工芸家連盟)の3氏が審査に当たり、入賞19点、入選148点を選んだ。

最高賞の河北賞は陶磁の只野和子氏(宮城・利府町)が受賞した。

展覧会場には、入賞、入選作に審査員、顧問、招待作家の作品30点を加えた197点が展示され、連日多くの工芸ファンが詰め掛けた。

(2) 協力事業

宮城県芸術協会、河北新報社などが主催する第49回宮城県芸術祭に協力し、優秀な成績を収めた12人に本団から奨励賞を交付した。

受賞者は、絵画部=本田崇、小川和子、町田美野、写真部=小野寺亨、影山英雄、書道部=阿部のぶ子、丸藤紫苑、鈴木霽月、高井俊篁、高野芳月、柳由美子、文芸部=吉田芳子の各氏。

2. 処 務 の 概 要

(1) 役員に関する事項

(平成24年12月31日現在)

| 役 職 | 氏 名 | 手当 | 現 職 | 就任年月日 |
|-------|---------|----|------------------|----------------|
| 理 事 長 | 一 力 雅 彦 | なし | 河北新報社代表取締役社長 | 平 22 ・ 4 ・ 1 |
| 常務理事 | 金 成 有 造 | 〃 | 河北新報社常務取締役 | 平 22 ・ 4 ・ 1 |
| 理 事 | 奥 山 恵美子 | 〃 | 仙台市長 | 平 21 ・ 8 ・ 22 |
| 〃 | 一 力 敦 彦 | 〃 | 東北放送代表取締役社長 | 平 23 ・ 7 ・ 1 |
| 〃 | 久 道 茂 | 〃 | 宮城県対がん協会会長 | 平 16 ・ 4 ・ 1 |
| 〃 | 加 藤 正 人 | 〃 | 東北福祉大学客員教授 | 平 20 ・ 4 ・ 1 |
| 〃 | 小 山 喜三郎 | 〃 | 宮城県芸術協会理事 | 平 20 ・ 4 ・ 1 |
| 監 事 | 佐 藤 久 内 | 〃 | 仙台銀行相談役 | 平 11 ・ 12 ・ 14 |
| 〃 | 岡 崎 智 政 | 〃 | 前三陸河北新報社代表取締役社長 | 平 19 ・ 6 ・ 27 |
| 評 議 員 | 村 井 嘉 浩 | 〃 | 宮城県知事 | 平 17 ・ 11 ・ 21 |
| 〃 | 佐 藤 雄 平 | 〃 | 福島県知事 | 平 18 ・ 11 ・ 13 |
| 〃 | 達 増 拓 也 | 〃 | 岩手県知事 | 平 19 ・ 4 ・ 30 |
| 〃 | 三 村 申 吾 | 〃 | 青森県知事 | 平 15 ・ 7 ・ 1 |
| 〃 | 佐 竹 敬 久 | 〃 | 秋田県知事 | 平 21 ・ 4 ・ 20 |
| 〃 | 吉 村 美栄子 | 〃 | 山形県知事 | 平 21 ・ 2 ・ 14 |
| 〃 | 里 見 進 | 〃 | 東北大学総長 | 平 24 ・ 4 ・ 1 |
| 〃 | 星 宮 望 | 〃 | 東北学院学院長 | 平 19 ・ 4 ・ 1 |
| 〃 | 幕 田 圭 一 | 〃 | 東北経済連合会名誉会長 | 平 17 ・ 5 ・ 18 |
| 〃 | 高 橋 仁 | 〃 | 宮城県教育委員会教育長 | 平 24 ・ 4 ・ 1 |
| 〃 | 渡 辺 雄 彦 | 〃 | 宮城教育大学名誉教授 | 平 10 ・ 5 ・ 21 |
| 〃 | 火 煙 雅 之 | 〃 | 東北放送文化事業団事務局長 | 平 21 ・ 4 ・ 1 |
| 〃 | 宍 戸 實 | 〃 | 河北新報社専務取締役 | 平 17 ・ 4 ・ 1 |
| 〃 | 大 島 孝 夫 | 〃 | 河北アド・センター代表取締役社長 | 平 24 ・ 4 ・ 1 |
| 〃 | 西 川 善 久 | 〃 | 河北新報社常務取締役 | 平 20 ・ 4 ・ 1 |
| 〃 | 木 村 定 | 〃 | 河北折込センター代表取締役社長 | 平 22 ・ 4 ・ 1 |

(2) 職員に関する事項

| 職 務 | 氏 名 | 就任年月日 | 担 当 |
|-----|---------|---------|-----|
| 職 員 | 進 藤 隆 輔 | H24・3・1 | 総 務 |

(3) 役員会に関する事項

(イ) 理事会

| 開催月日 | 議 事 事 項 | 会議の結果 |
|--------|--------------------------------------|----------|
| 2月20日 | 議題 1. 平成23年度事業報告書案承認の件 | 原案通り承認可決 |
| | 議題 2. 平成23年度収支計算書案承認の件 | 〃 |
| | 議題 3. 公益法人移行手続きの件 | 〃 |
| 3月31日 | 議題 1. 理事の中から理事長1名を互選する件 | 原案通り承認可決 |
| | 議題 2. 理事の中から常務理事1名を互選する件 | 〃 |
| | 議題 3. 任期満了に伴う評議員選任の件 | 〃 |
| 7月25日 | 議題 1. 公益財団法人移行後の最初の評議員を選任する選定委員の承認の件 | 原案通り承認可決 |
| 9月14日 | 議題 1. 公益財団法人河北文化事業団定款一部変更の件 | 原案通り承認可決 |
| 12月18日 | 議題 1. 平成25年度事業計画書案承認の件 | 原案通り承認可決 |
| | 議題 2. 平成25年度収支予算書案承認の件 | 〃 |
| | 議題 3. 河北文化賞規定改定の件 | 〃 |
| | 議題 4. 河北文化賞基金規定改定の件 | 〃 |

(ロ) 評議員会

| 開催月日 | 議 事 事 項 | 会議の結果 |
|-------|-----------------------------|----------|
| 2月20日 | 議題 1. 平成23年度事業報告書案承認の件 | 原案通り承認可決 |
| | 議題 2. 平成23年度収支計算書案承認の件 | 〃 |
| | 議題 3. 公益法人移行手続きの件 | 〃 |
| 3月12日 | 議題 1. 任期満了に伴う理事選任の件 | 原案通り承認可決 |
| | 議題 2. 任期満了に伴う監事選任の件 | 〃 |
| 9月14日 | 議題 1. 公益財団法人河北文化事業団定款一部変更の件 | 原案通り承認可決 |

- 12月18日 議題 1. 平成25年度事業計画書案承認の件 原案通り承認可決
議題 2. 平成25年度収支予算書案承認の件 //
議題 3. 河北文化賞規定改定の件 //
議題 4. 河北文化賞基金規定改定の件 //

(4) 許可、認可および承認に関する事項 該当なし

内閣府より、平成24年8月31日付け申請に対し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第44条の規定に基づき12月25日、公益財団法人に認定

(5) 契約に関する事項 該当なし

(6) 寄附に関する事項 該当なし

(7) 主務官庁指示に関する事項 該当なし